



みなみおか

第14号
2024. 2. 1
発行



2月になりました

学校では、体育で持久走に取り組んでいます。1月から体を慣らしながら休み時間も頑張っている姿をたくさん見ました。体育委員会でもスタンプラリーがあり、うれしそうにたくさんのスタンプが押しているカードを見せてもらいました。どの学年も完走をめざして取り組んでいます。中にはマラソンが苦手な「走りたくない!」とお話をしてくれるお友だちもいます。無理をせず、自分のペースでよいので完走をめざしてもらいたいです。



今、豊中市では新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症が流行っています。学級休業も出ています。お家でも手洗いうがいをしていただき、感染症に負けない体づくりにご協力ください。

学校での骨折などの怪我也多くなっています。特に登下校時の怪我也あります。ランドセルを背負っていますので、どうしても前に体重がかかり顔から地面につくことがあります。ランドセルを背負ったまま走らないようにクラスでも注意をしていますがお家でもお声掛けをお願いします。

また、朝がとっても寒いので、手をポケットに入れたまま登校している児童が多くなっています。声をかけてもすぐに出した手がポケットに入ってしまう。子どもたちにも手袋をしてるように勧めています。お家でご準備ができましたらご協力をお願いします。



全国体力・運動能力、運動習慣等の結果について



5年生の児童のみなさんの結果が学校へ届きました。今後内容を検討し分析していきます。全国平均と比べると低い種目があります。児童の不得意な種目が身体の柔軟性の影響なのか、運動への経験値が少ないためなのか、データから読み取り分析を進めます。また、詳細がわかれば、お知らせします。

人権協

「豊中市人権擁護都市宣言」が豊中市議会で採択されたのは、1984年です。その以前、1970年から発足したのが「豊中市人権教育推進委員協議会」です。差別のない明るい町をめざし、市内

の各地域から集まり発足しました。今は、市内公立高校・支援学校も含め69地区委員会において研修を中心とした人権教育活動を行っています。差別とは何か、人権とは何か、を学習する中で、常に自らに問いかけ、啓発活動を進めています。

第九中学校校区では、現地研修として「人と防災未来センター」へ行きました。ここでは、阪神・淡路大震災で起きたことや今後子どもたちに伝えていきたいことがたくさん詰まっています。このような震災が起こらないような知恵や知識をわかりやすく発信し、災害に強い町づくり・地域づくりに役立つ取り組みが紹介されていました。是非、来年度も皆さんの保護者の方々に参加をしていただきたいと思います。

★減災グッズを揃えよう（非常時に備える3ステップ）

- ① 0次の備え いつもケータイ
- ② 1次の備え 非常持ち出し
- ③ 2次の備え 安心ストック

非常持ち出し品のチェックはできていますか？



豊中市内一斉防災訓練

豊中市危機管理課より市内一斉の防災訓練があり、南丘小学校区でも参集訓練がありました。内容は、

1. 防災倉庫の確認
2. 避難所（体育館）の開錠訓練
3. 災害対策本部の設置、安否確認訓練



本来であれば、サイレンが鳴る予定でしたが、サイレンは聞こえませんでした。新しく導入された簡易テントの組み立て方法や防災倉庫の確認ができました。課題もありましたが、避難先の不便さもさらに実感できました。学校は地域の方々に守られているのと同時に、地域を守る存在でもあること。いつでも学校は安全に管理されていることが重要であること。学校の施設一つ一つを大切に扱い、いざというときにはすぐにも使えるような場所にしていきたいです。

第九中学校区青少年健全育成会 南丘地区委員会

健全育成会は、「地域の子どもは地域の大人で守り育てよう」の趣旨のもとに、児童・生徒の安全・見守り活動を推進し、明るい町づくりに努めることです。学校及び関係諸団体との連携を密にし、広く地域住民が児童・生徒の安全、安心を見守る活動を推進しています。

1. あいさつ運動
2. 標語・ポスター審査と表彰
3. クリーンアップ大作戦
4. 青少年健全育成市民のつどい、社会を明るくする運動



が主な仕事になります。活動費は、豊中市からの交付金も出ています。是非、皆様にも興味を持っていただき、ご参加ください。